

理想の“未来”の合言葉の取扱いについて

1 これまでの合言葉の分析

これまでご提案いただいた合言葉を分析したところ、下記のように分類することができました。

①「何を表しているか」の分類

- ア) まちの状態を表すもの……自然や都会など、従前の将来都市像に近くなり、都市計画マスタープランの将来像と重なる面が大きくなる。
- イ) ひとの状態を表すもの……笑顔やホッとするなど、観念的・感覚的な表現となる。
- ウ) 取組姿勢を表すもの……目標に向けた姿勢を表現するため、“充実した日々”という状態を補足する表現になる。
- エ) 市の目標を表すもの……到達点を表現しているため、設定した“充実した日々”との棲み分けが難しい。

②「誰に向けてか」の分類

- ア) 対内部……市民みんなで共通目標を意識することが可能になる。
- イ) 対外部……シティプロモーションで検討中のキャッチフレーズで代替可能である。
- ウ) 対内外……汎用性は高いが、ターゲットが不明瞭で中途半端になる。

この分析及び基本構想素案をもとに、本市における合言葉の目的や位置づけを次のとおり整理しました。

2 合言葉の目的について

- ・市民全体が共通の目標に向かって歩みを進めるため、基本となる考え方や姿勢について共有することで、ブレないまちづくりや市民の意思統一を図っていきたい。
- ・端的な表現を用いることで、理想の未来を実現するという考え方をいつでも口ずさみ、意識することができるようにしたい。

3 合言葉の位置づけについて

- ・対象：対内部（対市民）
- ・目的：共通目標である“充実した日々”に向けての取組姿勢を表現し、より意識を高める考え方を示唆できるもの
- ・ポイント：端的で覚えやすいこと
- ・狙い：合言葉により、市民自らが理想の未来に向かって一丸となって取り組むという認識を容易に共有できるようになること。

4 合言葉案の再考について

・合言葉については、これまでも審議会・WS・検討委員会において、方向性を定めずに募ってきましたが基本構想の方向性及びこれまでの分析より、方向性が定まったことから、再度審議会・WS・検討委員会において、方向性を示した上で再考を依頼させていただきます。

・具体的には、審議会当日に、前述の位置づけを踏まえ、再度合言葉の検討を行っていただき、委員ごとに案を複数提示していただく予定となっております（記載様式は参考2のとおり）

5 合言葉の選定について

○選定手法

- ①市民 WS、審議会、庁内検討委員会で、新たな考え方の元、改めて合言葉の案を募集する。
- ②集まった案について事務局で複数案選定し、審議会の了承を得る。
- ③審議会・WS(5/16)・検討委・議員で、選定された複数案の中から投票
- ④投票結果を基に、庁議で決定